

相互利用サービス

平成23年3月5日（土）に相互利用サービスを開始します！

【共通サービス】

- ・ 自動改札機での入出場
- ・ SF残額を利用した自動券売機での乗車券等の購入
- ・ 券売機等でのチャージ（上限金額は2万円）
- ・ SF利用履歴の表示、印字
- ・ 電子マネー加盟店でのお支払い・チャージ

※改札入場時には、ICOCAエリアの場合：1円以上、SUGOCAエリアの場合：10円以上のSF残額が必要です。（TOICAエリアの場合：残額0円でも改札入場が可能です）

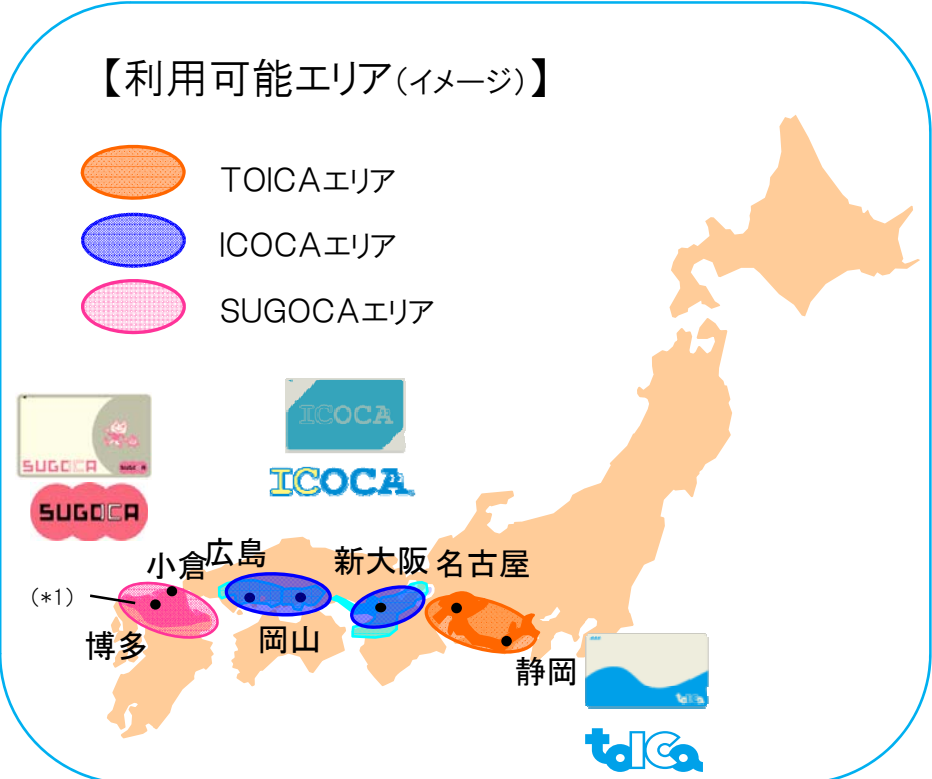
※「TOICA」「ICOCA」「SUGOCA」の各サービスエリアをまたがってのご利用はできません。あらかじめ全乗車区間の乗車券をお買い求めください。

※電子マネー加盟店でのチャージは一部の加盟店に限ります。

【IC乗車券の概要】

名称	発行枚数	利用可能駅数	電子マネー加盟店舗数
TOICA	102万枚	148駅	約2,380店舗
ICOCA	577万枚	428駅	約13,410店舗
SUGOCA	43万枚	146駅	約6,960店舗

※「TOICA」は、JR東日本の「Suica」、JR西日本の「ICOCA」との相互利用サービスを実施しております。
 ※「ICOCA」は、JR東日本の「Suica」、JR東海の「TOICA」、株式会社スルッとKANSAIの「PiTaPa」との相互利用サービスを実施しております。（PiTaPaは交通利用のみ）
 ※「SUGOCA」は、JR東日本の「Suica」、西日本鉄道株式会社の「nimoca」、福岡市交通局の「はやかけん」との相互利用サービスを実施しております。
 ※上記及び発行枚数・利用可能駅数・電子マネー加盟店舗数は、いずれも平成22年11月末現在です。



(*1) 「TOICA」と「ICOCA」は、「SUGOCA」エリアのうち筑肥線・唐津線の姪浜～西唐津間ではご利用いただけません。

記念カードのデザイン

JR東海：TOICA



JR西日本：ICOCA

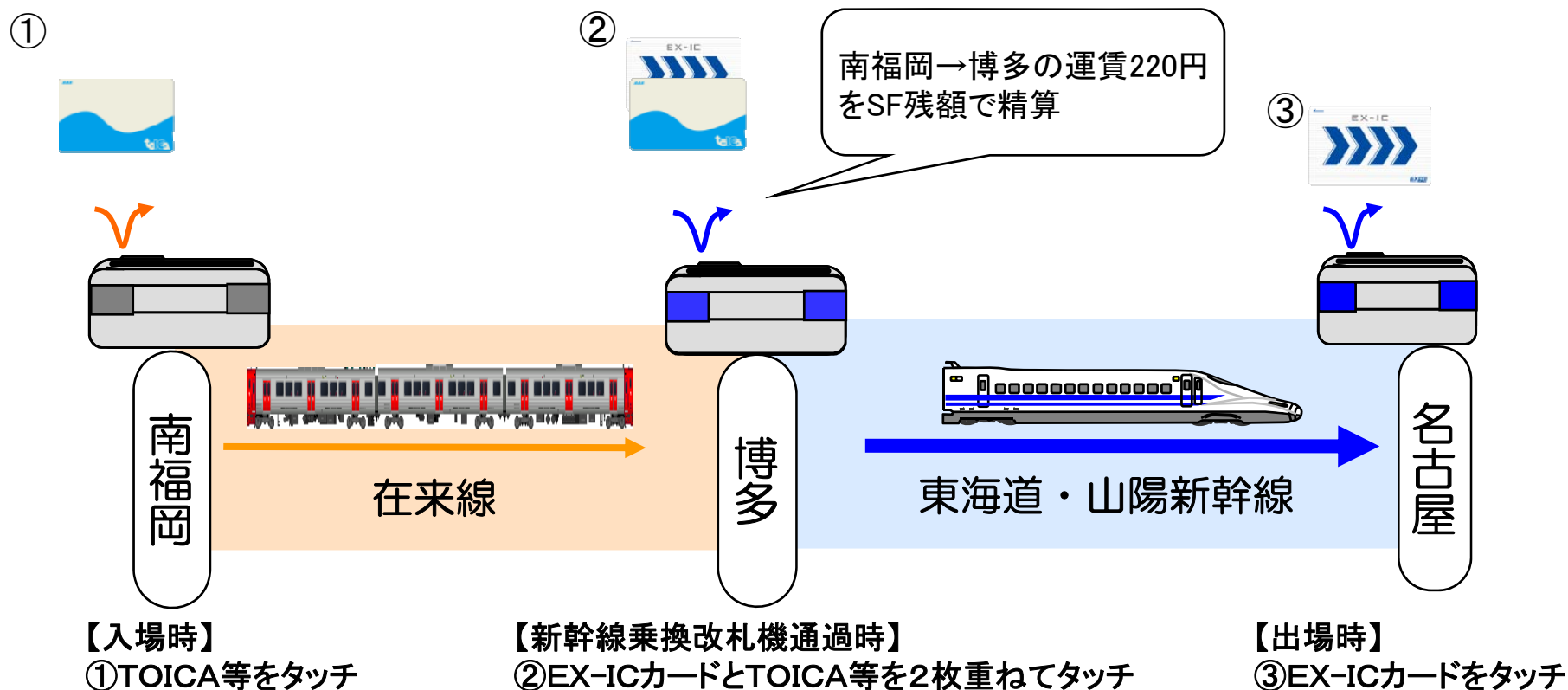


JR九州：SUGOCA

※平成23年3月5日（土）、TOICA：1万枚、ICOCA：3万枚、SUGOCA：1万枚を発売予定。
発売箇所等は決定次第、改めてご案内します。

乗換改札口でのご利用方法（EX-ICカードとIC乗車券の組合せの場合）

【在来線から新幹線に乗り継ぐ場合（例：南福岡→博多→名古屋）】



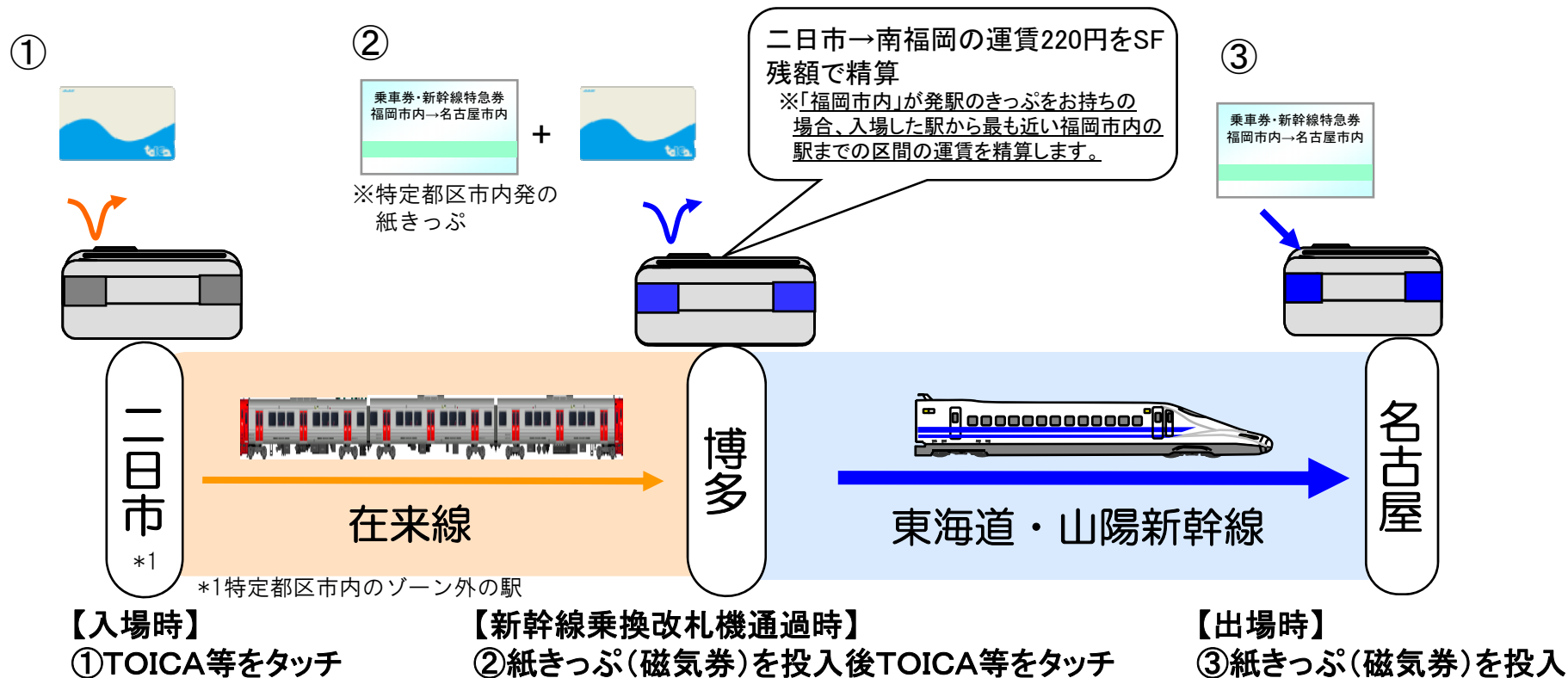
※博多駅及び小倉駅の新幹線乗換改札機においては、平成23年3月12日(土)より上記のサービスを開始します。

※九州新幹線(新鳥栖～鹿児島中央間各駅)では、EX-ICカードはご利用いただけません。

乗換改札口でのご利用方法（新幹線の紙きっぷ（磁気券）とIC乗車券の組合せの場合）

別紙3-2

【在来線から新幹線に乗り継ぐ場合（例：二日市→博多→名古屋）】



[新幹線の紙きっぷ（磁気券）をご利用の場合の注意点]

- ・新幹線の紙きっぷ（磁気券）とTOICA等を組み合わせて在来線から新幹線に乗り継ぐ場合、新幹線乗換改札機に紙きっぷ（磁気券）を投入後、TOICA等をタッチしてください。
- ・新幹線の紙きっぷ（磁気券）で新幹線から在来線に乗り換える際は、新幹線乗換改札機に紙きっぷ（磁気券）を投入するだけで乗換改札口を通過できます。
- ・在来線改札機で入場処理を行っていない紙きっぷ（磁気券）のみでは、新幹線乗換改札機を通過できません。

※博多駅及び小倉駅の新幹線乗換改札機においては、平成23年3月12日(土)より上記のサービスを開始します。

※在来線から九州新幹線(鹿児島中央方面)へ乗り継ぐ場合でも当サービスがご利用いただけます。